

大型体育館・テニスコート の建設が進んでいます



平成19年に開催される秋田わか杉国体（第62回国民体育大会）で使用される大型体育館（仮称・樹海公園体育館）と16面テニスコートの建設工事が進んでいます。

（仮称）樹海公園体育館は、バレーボール競技（成年男女6人制）の会場として樹海ドームに隣接する樹海公園に建設されるもので、市民体育館の約3・5倍の大きさになります。市民のスポーツ・レクリエーションの拠点となるのはもちろん、展示会などさまざまな活動が可能になり、樹海ドームとの相乗効果も期待されます。

一方、ソフトテニス競技全種目が行われる高館公園は、県北地区中高一貫教育校予定地の北側（釈迦内地区高館下地内）に建設されるものです。16面テニスコートを中心とした公園として、市民が気軽に利用できる憩いの場となります。

これらの施設は、平成17年の夏に開催されるミニ国体までに完成する予定です。

（仮称）樹海公園体育館

スケールの大きな大屋根は、雄大な大館の自然、スポーツの持つスピード感、動きのダイナミズムを表現。その梁は集成材で構成されています。高機能な体育館として国内最高レベルの大会が開催可能で、段差のないバリアフリーに対応した高齢者、身障者に配慮した施設です。

建築面積 7,810㎡
延床面積 8,230㎡

施設の概要

メインアリーナ（38m×63m）
主な競技種目（公式利用コート数）
バスケットボール（3面）、バレーボール（3面）、バトミントン（12面）、ハンドボール（1面）、卓球（20面など）
観客席 固定席1,600席（2階）
※観客席周囲に1周240mのランニングコースを設置

※アリーナ床面に可動席500席（仮設席2,500席設置可能）
サブアリーナ（33m×20m）
主な競技種目（公式利用コート数）
バスケットボール（1面）、バトミントン（3面など）

※各種公式競技に対応した機能を持ち、国体時には練習会場として利用されます。
その他
トレーニングルーム、スポーツギャラリーなど

